

# アンケート分析 まとめ

## 1 一般高齢者アンケート

### 老老介護の可能性

回答者 316 人のうち、1 人暮らし 72 人、夫婦 2 人世帯 134 人の計 206 人（65%）が高齢者世帯

### 1 人暮らし世帯の栄養状態は良好

食事は、1 人暮らし 72 人のうち 59 人は自分で作り、4 人が買ってきて、2 人が給食サービスなど利用。

### 積極的に外出している人の健康状態は良好

週 1 回以上の合計で、「買い物」は 77%、「散歩や運動」は 60%、「地域活動や趣味」は 45%と、年代に差はなく積極的に外出。「散歩や運動」「地域活動や趣味」で外出している人の健康状態は良好。

### 日中 1 人になる高齢者は約半数

日中に 1 人になることが「常時ある」「1 週間に数日ある」人は 76 人、一人暮らし 72 人合計で 148 人（47%）。前期高齢者で 72 人、後期高齢者で 76 人。

### 1 人暮らしの見守りの状況

1 人暮らしの人の安否確認は、身内が約 4 割、身内以外は 24%、「そのような人はいない」が約 6%

### 健康維持・介護予防の取組状況

健康維持のために気を付けていることは、「食事」76%、「十分な睡眠」「散歩や身体を動かす」が過半数、「定期的に健康診断」「規則的な生活」が約 4 割。

介護予防のために「健康診断の受診」29%、「ウォーキング」28%、「地域体操教室」11%が取り組んでいる。今後取り組みたいことは、「認知症予防教室」が最も高く 23%、「健康診断の受診」18%、「地域体操教室」14%。

### 生きがいづくりメニューの充実が必要

「生きがいを感じる」と「今後やってみたいこと」の比較では、「町内会や老人クラブ活動」「ボランティア活動」が 10%から 21%に増加し、地域活動への意欲が感じられた反面、「特になし」「無回答」が 20%から 50%に増加。

### 介護を受けることになった場合の生活

介護を受けることになった時は、「自宅」が 35%、「施設・病院」が 40%。「自宅」での在宅生活のためには「緊急時に対応してもらえること」を 7 割、「介護に要する費用が増えないこと」を 6 割の方が望んでいる。

### その他自由記述

- ・制度やサービスが充実していなかったら何のための保険料が負担感が残る
- ・いくつになっても一人になっても安心して暮らせる環境が必要
- ・年金では高額な費用がかかる施設には入所できず、安価に入所できる施設がほしい
- ・家族に介護の重い責任を負わせたくないため、ケア付き施設を充実させてほしい。

- ・施設も介護保険制度を来やすく相談しやすい場所であってほしい。
- ・予防給付を地域支援事業に移行した際の受け皿は大丈夫か。市町村格差が出ないのか。
- ・健康に関心が多くあり、地域からの運動が大事だと感じている。リーダーの養成など、5,10,15年先を見越した対策・補助を期待。
- ・素人にもわかりやすいパンフレットの配布を希望する。
- ・認知症予防に自分のできるサークルに参加したい。
- ・介護についての予備知識を得るような教室があれば、勉強したい。
- ・高齢者福祉施策や介護保険制度に自分が手伝えることがあれば行いたい。

## 2 居宅サービス利用者アンケート

### 老老介護の可能性

回答者 121 人のうち、1 人暮らし 42 人、夫婦 2 人世帯 18 人の計 60 人（50%）が高齢者世帯

### 外出状況

週 1 回以上の合計で、「デイサービス」が 58%、「買い物」は 43%、「散歩や運動」は 33%、「地域活動や趣味」は 8%。要支援 1・2 の人では半数以上、要介護 1～3 の人も比較的多く「買い物」「散歩や運動」「デイサービス」での外出。

### 日中 1 人になる高齢者は過半数

日中に 1 人になることが「常時ある」「1 週間に数日ある」人は 27 人、1 人暮らし 42 人合計で 68 人（58%）。前期高齢者で 8 人、後期高齢者で 60 人。

### 1 人暮らしの見守りの状況

1 人暮らしの見守りは、「別居の子」が 50%、「近所の人」が 41%、「別居の親族」が 33%、「友人・知人」「ケアマネジャー」が 21%。

### 介護者の状況

介護者が「配偶者」の場合、70 歳以上が約 9 割、「健康に不安がある」「病気や障害がある」場合が約 7 割。介護者が「子ども」の場合、「65 歳未満」が 65%、「仕事をしながら介護」が 58%、「おおむね健康である」が 75%。

### 生きがいづくりメニューの充実が必要

「生きがいを感じることは」「テレビやラジオ」が 27%、「家族とのふれあい」が 19%と割合が高い。「今後やってみたいこと」の比較では、「特になし」「無回答」が 44%から 60%に増加。

### 介護を受けたい場所の意向

今後介護を受けたい場所、「自宅」が 5 割、「老人ホームなどの施設」26%。1 人暮らしでは、「自宅」と「老人ホーム」「病院」が同数。

「自宅」での在宅生活のためには、「緊急時の対応」62%、「24 時間 365 日在宅サービス」「介護者の健康管理」が 33%。

「老人ホームなどの施設」の選択理由は、「介護者がいない」44%、「1 人暮らしが不安」34%。そのうち、家族と同居している方は、「介護者の健康状態がよくないため」が 42%、「介護者が働いている」「介護者が疲れている」が 17%。

#### 利用意向の高い居宅サービス

上位3つは、「通所介護」54%、「福祉用具貸与」53%、「訪問介護」51%。

利用状況と比べ利用意向が大きく増えているサービスは、「居宅療養管理指導」「小規模多機能型居宅介護」「訪問入浴」、「特定施設入居者生活介護」、「訪問看護」、「認知症対応型共同生活介護」。

#### その他自由記述

- ・介護保険料をこれ以上上げないでほしい。
- ・グループホームが満員で入所できないため、増やして欲しい
- ・安価な介護施設が少なく、家族の負担が大きい
- ・冬期間の買い物、除雪などを一番してほしい
- ・滝川で受ける事の出来る各種サービス等を知れたら介護の選択も増える。
- ・ショートステイの場合、利用日数限度以外の日数に対する利用者負担金の軽減。
- ・介護に携わる職員の処遇（賃金等）改善を望む。
- ・病院同士のネットワーク、在宅医の充実

### 3 施設サービス利用者アンケート

#### 施設に関する不満

「交通の便が悪い」26%、「建物や設備の不備」24%

#### 施設入所による効果

「安心して生活できるようになった」48%、「家族に対する気がねが減った」26%、「人と話す機会が増えた」21%。

#### その他自由記述

- ・介護者の人数不足により入居者との精神面での関わり方が少ない様に見受けられる。
- ・職員には、やさしく声掛けしてほしい。
- ・個室化への取り組みを考えてほしい。
- ・交通アクセスが良くなるように、施設を街中に作ってほしい。
- ・介護療養型医療施設が整備されていることは安心
- ・従事者の給与面、ソフト面、子育てのための保育所など長く勤められる様な対応必要

### 4 サービス事業者アンケート

#### 職員の確保

直近従業員数との比較で、昨年度1年間でケアマネジャーの15%、介護職員の20%が離職。

勤務年数別では、雇用形態に関わらず1年未満の離職は4割程度、3年未満で6割程度と早期離職の割合が高い

#### 介護サービスの利用状況

「居宅介護支援」「訪問看護」「認知症対応型共同生活介護」「特定施設入所者生活介護」は、「常にフル稼働」が過半数で、「認知症対応型共同生活介護」「特定施設入所者生活介護」は満床に近い状態にある。

#### 提供サービスの今後の方針

「現状維持」40%、「事業規模拡大」32%、「新規事業検討」が24%。新規参入の課題としては、「スタッフの確保」80%、「利用者の確保」が44%、「設備等の整備・確保」36%。介護保険以外のサービスは、「短期入所のサービス」「ストレッチ体操」「健康相談」などを実施。今後の予定では「体操教室」「認知症カフェ」など介護予防や介護者の支援サービスの取組みを検討している事業所がある。

#### その他自由記述

- ・事業者や地域住民の声が反映されるようなシステム作りを工夫してほしい。
- ・事業者や地域ボランティアをしている方々を巻き込む地域づくりが必要。
- ・看護師、介護士、ケアマネ等の介護従事者不足を解決する取組が必要。
- ・家に閉じこもらないように生涯学習や交流がもっと図れるような場所の整備
- ・低所得者向けの負担軽減制度の充実
- ・新規開設事業者への指導助言等
- ・老健の増床や地域密着の特定施設を増床